中学理科プリント（書き取り）
植物・動物の分類 No.6

名前

得点 ／22

1. 種子植物が発芽する際、最初の養分を蓄えている葉の部分を何という？
2. 発芽した際に子葉が1枚で、根がひげのような形をしているグループを何という？
3. 胎生を行う動物において、親から栄養や酸素を子に受け渡すための特別な器官を何という？
4. 顕微鏡の対物レンズが、観察するものに最も近い位置で果たしている役割を何という？
5. 脊椎動物のうち、胎生という特徴を持ち、子供を乳で育てるグループを何という？
6. 肺呼吸のほかに、皮膚を通した呼吸を併用して酸素を取り込む生物のグループを何というか？
7. 被子植物において、受粉後に発達して種子となる植物の組織を何という？
8. 顕微鏡で観察する際、対物レンズとプレパラートとの距離を調整するために回すねじを何という？
9. 親の体内で子がある程度育ってから生まれる生殖のしかたを何という？
10. 双子葉類の葉に見られる、網目状に発達している組織を何という？
11. 節足動物が成長する過程で、硬い外骨格を脱ぎ捨てて体が大きくなる現象を何という？
12. 種子植物のうち、胚珠が子房に包まれている植物の総称を何という？
13. 被子植物が種子から発芽した際に最初に出る葉のことを何という？
14. 顕微鏡で観察する試料をのせるために用いられる、薄く平らな透明なガラス板を何という？
15. 一般的に、顕微鏡の倍率が高い対物レンズほど、レンズの形にはどのような特徴があるか？
16. 被子植物において、おしべでつくられた花粉がめしべの先につくことを何という？
17. 葉で光合成によって作られた養分を、植物の体全体へ運ぶための管を何という？
18. コケ植物が体を地面や岩に固定するために持つ、根のような働きをするつくりを何という？
19. 顕微鏡の構成要素のうち、観察者の目に近い位置にあるレンズを何という？
20. 昆虫やクモ、エビやカニなど、体や足に節があり、外骨格を持つグループを総称して何という？
21. 周囲の気温が変化しても、体内で熱を産生して体温を一定に保つことができる動物を何という？
22. 顕微鏡の倍率を決める際、目元側に取り付けられているレンズを何という？

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「植物・動物の分類」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.6 植物・動物の分類

言えた　／22

① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	マメのなかまなどでは、この養分が**子葉**にたくわえられています。	**子葉**	□
2	**単子葉類**は、子葉が1枚であること以外にも、根がひげ状にたくさん生える「ひげ根」や、葉脈が平行な「平行脈」であるといった共通の特徴を持っています。	**単子葉類**	□
3	**胎盤**は、子宮内に形成され、母体と胎児をつなぐ器官です。	**胎盤**	□
4	顕微鏡の対物レンズは、試料からの光を最初に集めて**拡大**像を作る重要なパーツです。	**拡大**	□
5	**哺乳類**は、体毛を持ち、体温を一定に保つ恒温動物です。	**哺乳類**	□
6	**両生類**は、幼生期はえら呼吸、成体になると肺呼吸と皮膚呼吸の両方を行うという特徴を持つ生物です。	**両生類**	□
7	**胚珠**は、めしべの下部にある子房の中に守られています。	**胚珠**	□
8	**調節ねじ**は、顕微鏡の鏡筒やステージを動かして対物レンズとプレパラートの距離を調整する部品です。	**調節ねじ**	□
9	**胎生**では、親の体内から栄養を供給しながら子を育てます。	**胎生**	□
10	双子葉類の葉には、網目状に広がった線が見られます。これが**葉脈**です。	**葉脈**	□
11	体が大きくなると古い殻を破って脱ぎ捨て、新しい柔らかい殻が固まるまでの間に体を急激に大きくします。	**脱皮**	□
12	**被子植物**は、種子植物の中で最も多くの種を含み、私たちの身近な野菜や花、樹木の多くが含まれます。	**被子植物**	□
13	**子葉**は、種子が発芽した時に最初に見られる葉のことで、胚の一部が発達したものです。	**子葉**	□
14	これは、観察する試料を載せる長方形の「**スライドガラス**」と、その上から被せる「カバーガラス」の2枚のガラス板で構成されます。	**スライドガラス**	□
15	対物レンズは、倍率が高くなるほどレンズが大きくなり、鏡筒自体の長さも**長く**なるのが特徴です。	**長く**	□
16	植物の生殖において、おしべから出た花粉が同じ種類または同じ個体のめしべの先端（柱頭）に付着する現象を「**受粉**」といいます。	**受粉**	□
17	**師管**は維管束の構成要素の一つで、葉でつくられた糖などの養分を、体内の必要な場所へ分配する役割を果たします。	**師管**	□
18	**仮根**は、コケ植物の体の下部から伸びる細い糸のような組織です。	**仮根**	□
19	**接眼レンズ**は、顕微鏡の鏡筒の最上部にあるレンズです。	**接眼レンズ**	□
20	**節足動物**は、体全体が節（ふし）で構成されており、硬い外骨格を持つのが最大の特徴です。	**節足動物**	□
21	食事で得たエネルギーを使って体内で熱を産生し、常に安定した体温を維持します。	**恒温動物**	□
22	**接眼レンズ**は、観察者がのぞき込む位置にあるレンズのことです。	**接眼レンズ**	□

言えなかった用語ノート